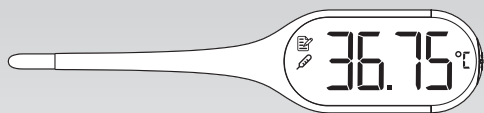


電子体温計 MXHT-TM50

予測式／実測式

わき・口中用

バックライト付



取扱説明書

(家庭用)

このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。

はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- ・この取扱説明書については、将来予告なく変更することがあります。
- ・製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- ・この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは、個人利用を除き禁止されています。また無断転載は固くお断りします。
- ・イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

安全上のご注意 必ずお読みください

お使いになるご本人や周囲の人々への危害・物的損害を未然に防止するため、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

表示の説明

表示	表示の意味
⚠ 警告	人が死亡または重大な損害を受ける可能性がある内容を示します。
⚠ 注意	人が負傷または物が破損する可能性がある内容を示します。

図記号の説明

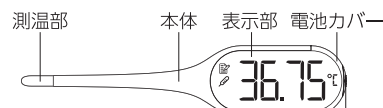
表示	表示の意味
⚠	気をつけて頂く必要がある内容を示します。
⊘	してはいけない内容を示します。
❗	必ず実行しなければならない内容を示します。

⚠ 注意

- ⊘ 電子レンジや高圧容器などに入れない。故障や破裂の原因になります。
- ⊘ 測温部を電源コンセントに差し込まない。感電や故障の原因になります。
- ❗ 電池の⊕⊖極を正しく入れる。発熱や液漏れ、破裂などの原因になります。

各部のなまえ

本体 (お試用電池 装着済)



表示部

電源ボタン



収納ケース



※記載されている名称、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標もしくは商標です。

⚠ 警告

- ⊘ 測定中に体温計のそば(30cm以内)で携帯電話やスマートフォンを使わない。正しい検温ができず、病気が悪化する原因になります。
- ⊘ 測定結果の自己診断をしない。治療は医師の指導に従う。自己診断は、症状の悪化の原因になります。
- ⊘ 人の検温以外に使用しない。動物などの検温をしようすると、暴れてけがをする原因になります。
- ⊘ わき、口中以外(耳など)で検温しない。わき、口中専用の体温計です。正しい検温ができず耳などを傷つける原因になります。
- ⊘ 本体が水などでぬれた状態で測定しない。正しい検温ができず、病気が悪化する原因になります。
- ⊘ 本体や電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。破裂などにより、けがの原因になります。
- ❗ 乳幼児の手の届かないところに保管する。また、お子様だけのご使用はさける。自分で測ろうとしてけがをする原因になります。

⚠ 警告

- ❗ 電池やネジ、電池カバーは乳幼児の手の届かないところにおいてください。乳幼児が飲み込むおそれがあります。飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

⚠ 注意

- ⊘ 分解や修理・改造をしない。また、強い電磁波のあるところで使用しない。検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
- ⊘ 踏んだり、強い衝撃や振動を与えたり、落としたりしない。事故や故障の原因になります。
- ⊘ 複数の人で併用しない。また、測定の前後に測温部付近を消毒用アルコールで洗浄、消毒する。病原菌に感染する原因になります。
- ⊘ 電源が入ったまま、電池交換を行わない。故障の原因になります。
- ⊘ 電池を取り出すときに金属製のピンセットやドライバーなどを使用しない。短絡により、発熱や液漏れ、破裂などの原因になります。

体温の測りかた

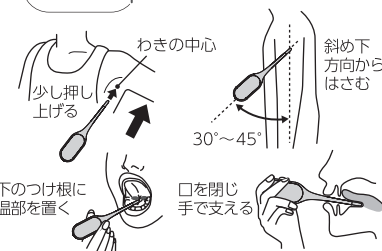
①電源を入れる

体温計を収納ケースから出し、電源ボタンを押します。「---°C」が表示されたら検温準備完了です。
 ●電源を入れるときに電源ボタンを約3秒長押しすると、予測式⇄実測式を切り替えることができます。
 ●環境温度が32°Cを超えると、測温部が温まり、温度を表示する場合があります。その場合、測温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。



②わきの下にはさむ、または、口中(舌のうら側)に入れる

わきの下の場合、くぼみの中心部に測温部があたるように、斜め下方向からはさんで、わきをしっかりと閉じます。
 ●測る前に、わきの下の汗を乾いたタオルなどで軽くふき取ってください。
 ●わきが開かないようにしてください。
 口中の場合、舌下のつけ根の左右どちらかに測温部を置き、舌でおさえて、口を軽く閉じます。体温計がずれないように手で支えます。
 ●検温中は口を開けないでください。また、口で呼吸しないでください。



③体温を測定する

検温中は「---°C」が点滅します。予測式の場合約8～30秒、実測式の場合約5分経過すると、「---°C」が点滅から点灯へ変わり、ピープ音が1回鳴ります。取り出して表示部を確認してください。
 ●測定値が37.60°C以上の場合、ピピピ音が5回鳴ります。(高体温警告機能)

④電源を切り、収納ケースに入れる

電源ボタンを押して電源を切ります。
 ●電源を切り忘れても、約30秒後に自動的に電源が切れます。(自動電源OFF機能)
 ●測温部を消毒用アルコールなどできれいにしてから、収納ケースに入れてください。

正しく測れないとき

※測定値が高い、または (H_i) 表示になる。

原因	対処方法
運動や入浴、飲食直後	30分以上時間をあける。
長時間布団の中にいたりして、熱がこもっている	こもった熱を冷ましてから検温する。
起床後すぐに動き出した	動く前に測るか、動き出してから30分以上あける。

※測定値が低い、または (L_o) 表示になる。

原因	対処方法
わきの下が汗ばんでいる	汗を乾いたタオルなどで軽くふき取る。
連続して検温した	一度電源を切り、1分以上あけてから、もう一度検温する。
測温部が衣服に触れている	衣服に触れないようにして、もう一度検温する。
測温部が正しい位置にあたっていない	測温部をわきの中心にあて、下から少し押し上げるようにはさむ。または、舌下のつけ根に置き、舌でおさえて口を閉じる。

※ (Err) 表示になる。(測温部の温度不安定)

原因	対処方法
体温計を動かした	一度電源を切り、1分以上あけてから、もう一度検温する。
体を動かした	

廃棄のしかた

お住まいの地域によって回収品目、回収方法が異なるため、ご使用済み製品や電池の廃棄に関しては、お住まいの市区町村の回収方法にしたがってください。

故障かな？と思ったら

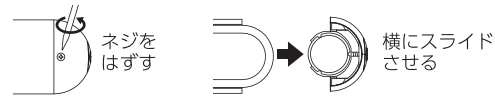
本体が正常に動かないときは以下の確認をお願いします。もし正常に戻らない場合はお買い上げの販売店、または当社「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

症状	原因	対処の方法
電源が入らない	電池の極性を間違えた	電池を正しく挿入する
	電池が入っていない	
	電池の接触不良	
	電池が消耗した	
■が表示される	電池電圧が低下している	新しい電池に交換する
■が点滅表示されたのち、電源が切れる	電池が消耗した	
(H _i)が表示される	測定値が 42.90℃を超えた	「正しく測れないとき」を確認する
(L _o)が表示される	測定値が 32.00℃未満である	
(Err)が表示される	体温計が動いた/体を動かした	
測定値に誤差がある	予測式を使っている	実測式に切り替えて検温する
	測温部をあてるところが、検温するたびに変わっている	「体温の測りかた」を確認し、同じ場所で検温する

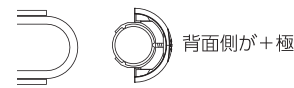
電池交換のしかた

コイン形電池 CR1632 をご用意ください。電池交換マーク ■が表示されたら、早めに電池を交換してください。

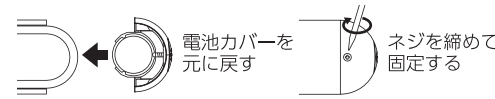
- ①本体裏側の電池カバーのネジを反時計方向に回して取りはずし、電池カバーを横にスライドさせます。
 - ネジは小さいので無くさないように注意してください。



- ②電池を取り出し、新しい電池と交換します。
 - 背面側が+になるように電池を挿入してください。



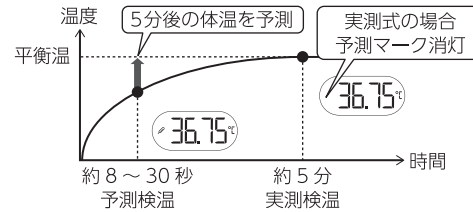
- ③電池が正しく挿入されていることを確認し、電池カバーを元に戻して、ネジで固定します。
 - 使用済み電池は、セロハンテープなどで電極を絶縁したのち、お住まいの市区町村の回収方法に従って廃棄してください。



※電池交換直後は、予測式(工場出荷時設定)になります。

予測検温のしくみ

検温開始から温度の上がりかたを分析・演算し、平衡温を約 8 ～ 30 秒で予測します。



- 医師の指示などで、より正確な体温測定が必要な場合は、実測検温してください。

仕様

医療機器認証番号	
名称	電子体温計 MXHT-TM50
種類	予測式/実測式 一般用 測温部一体形 防浸形
検温部位	わき下、舌下
測定方式(測定時間)	予測式(8～30秒) / 実測式(5分以下)
電源	コイン形電池 CR1632 1個(DC3V)
電池寿命	約 1000 回
測温表示範囲	32.00 ～ 42.90℃(0.01℃単位)
最大許容差	±0.1℃(35～42℃、恒温水槽で測定した場合)
付加機能	メモリー機能(前回測定値) 自動電源 OFF(約 30 秒) 高体温警告(37.60℃以上) バックライト自動点灯(電源 ON 時、検温終了時)
使用環境条件	10 ～ 40℃ 15 ～ 95%RH
保管環境条件	-25 ～ 55℃ ≤95%RH
電撃保護分類	内部電源機器・B F 形装着部
IP 保護等級	IP22
耐用年数	5 年
外形寸法	131×28×13mm
本体質量	約 20g(電池含む)
同梱品	収納ケース、お試用電池(装着済) 取扱説明書(保証書付)、医療機器添付文書 EMC 技術資料
製造販売元	(株) NAIPO CARE JAPAN

保証とアフターサービス

- 保証書
保証書はよくお読みの上、購入証明書(納品書・レシートなど)とともに大切に保管してください。保証期間はご購入日から1年間です。
- 本製品に関するお問い合わせ先
本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

株式会社電響社

マクセル製品 お客様ご相談センター

TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル) | FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル)

<https://www.maxell.co.jp>

マクセルお問い合わせ 検索

お手入れと保管のしかた

体温計はいつも清潔にお手入れしてください。

本体の汚れは乾いたやわらかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、水または薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布でからびぎしてください。測温部周辺は、消毒用アルコールを含ませたコットンなどで拭いてください。

下記のことを守ってください。変色や故障の原因になります。

- 表示部や電池カバー周辺は、消毒用アルコールを使わないでください。
- 本体の防水等級は IP22 です。絶対に水や液体に浸さないでください。
- シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。
- 熱湯(50℃を超える湯)で消毒しないでください。
- 超音波洗浄をしないでください。
- 水分が付いたままケースに収納しないでください。

体温計は収納ケースに入れて保管してください。

下記のようなところには保管しないでください。故障の原因になります。

- 水のかかるところ。
- 高温多湿のところ、直射日光があたるところ、暖房器具のそば、ほこりの多いところ。
- 振動、衝撃のあるところ。
- 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。